

防火管理者選任（解任）届出書記入要領

項 目		記 入 要 領	
年 月 日		届出書の提出年月日を記入します。	
届 出 者		1 当該事業所の管理について権原を有する者の住所、氏名を記入し、押印します。（但し、法人の場合は法人の住所、名称及び代表者の職氏名を記入し、押印します。） 2 個人企業の場合は、住民登録のしてある住所とします。	
・ ・ 選任（解任） ・ ・		1 「選任（解任）」のうち不要の文字を＝で抹消します。 2 同一の届出書で選任と解任を行うときはそのままにします。	
防 火 対 象 物	所 在 地	当該防火対象物の所在地を記入します。	
	名 称	「 株式会社 工場 」、「 銀行 支店 」、又は「 ビル 」、等当該防火対象物の名称を記入します。	
	用 途	当該防火対象物の用途を消防法施行令別表第一に掲げる用途区分及び項区分により「飲食店(3)項口」、「複合用途(16)項イ」の要領で記入します。	
	収 容 人 員	消防法施行規則第1条の算定基準により算定した当該防火対象物の全体の収容人員を記入します。	
	種 別	消防法施行令第3条の防火対象物の区分に応じ該当する方を で囲みます。	
	管 理 権 原	当該防火対象物全体について管理権原の分かれなない場合は、「単一権原」を、分かれる場合は「複数権原」を で囲みます。	
	消 防 法 施 行 令 第 2 条 を 適 用 す る も の	1 同一敷地内に同一管理権原の2以上の建物がある場合、各棟ごとの名称、用途、収容人員を記入します。 2 棟が多く、この欄に書ききれないときは、適宜用紙を添付して記入します。	
消 防 法 施 行 令 第 3 条 第 2 項 を 適 用 す る も の	1 複数権原の防火対象物にあつては、届出者の管理する事業所の名称、用途及び収容人員を記入します。 2 事業所が複数になる場合は事業所ごとに記入し、書ききれないときは、適宜用紙を添付して記入します。		
防 火 管 理 者	選 任	氏名・生年月日	防火管理者となる者の氏名と生年月日を記入します。
		住 所	防火管理者となる者の住所を記入します。（住民登録のしてある住所）
		選 任 年 月 日	管理権原者から当該防火対象物の防火管理者として指名選任された年月日又は届出年月日を記入します。
		職 務 上 の 地 位	防火管理者として選任されたときの組織上の地位をきにゅうします。「総務部長」、「店長」、「支店長」等
		講 習 機 関	防火管理講習を受けた機関名を記入します。「 消防本部 」等
		種 別	受講した防火管理講習の種別に該当する方を で囲みます。
		講 習 修 了 年 月 日	講習修了証に記載されている年月日を記入します。
	そ の 他	講習以外の資格で選任する場合の根拠法条及び資格内容を記入します。「規則第2条第1項（安全管理者）」等	
解 任	指名・生年月日 住所・解任年月日	前記選任の例により記入します。	
	解 任 理 由	「転勤」、「退職」など具体的に記入します。	
その他必要な事項		新たに防火管理者が必要となった理由等を簡記します。「新築」、「増築」、「従業員の増加」、「収容人員の増加」等	